A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	飼育と環境	単位数	3	学年・学科	3学年・A科
教科書	海文堂出版「飼育と環境」		副教材				

学習目標	○飼育と環境について、順序だてて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ○飼育と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として効率的で発想力豊かに解決する力を養う。 ○実際の現場で応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に自主的に、仲間と協力しながら取り組む態度を養う。
学習方法	○飼育と環境に関する課題を解決する方法を実践的に学びます。 ○産業動物だけではなく、さまざまな動物の飼育と環境に関わることを学びます。 ○家畜の飼料と管理、繁殖技術について学びます。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨		重み付け	考查	考查外	
				100%	55%	45%	
学習評価	a 知識・技能 (専門教科は知識・技術)	動物の発育に関する知識と動物の飼育に関する知識と技術を身に付けるとともに、動物が人々の生命の維持や豊かな生活を提供するという社会的な役割を担っていることを理解している。	前期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
			中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%
			後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	5%	25%
	b 思考・判断・表現	動物の飼育や環境に関する課題について、環境への配慮や法令遵守などの倫理観をもちつつ、科学的な根拠などに基づいて発想力豊かに解決しようとしている。	前期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
			中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%
			後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	5%	25%
c 主体的に学習に取り組む態度	動物飼育の学習を通して、実際の現場への応用や生活の質の向上を図るとともに、農業の振興や社会貢献に主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。	前期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%	
		中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%	
		後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	5%	25%	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期 中間	A 畜舎のねずみ対策 (プロジェクト活動) 【教科書】 2 飼育の目的と現状 3 飼育と環境 4 飼育技術と管理・評価	A 実態調査、一般的な駆除方法、 駆除方法について 【教科書】 2-1 現代社会における動物飼育の 目的 2-1 飼育の現状と動向 3-1 動物の種類と特性 3-2 発育と環境 3-3 衛生と環境 4-1 社会動物	○	○	○	a: 本校のネズミ被害および対策について現状を把握できる。 b: インターネットより、一般的なネズミに関する情報を手に入れることができる。 c: 駆除方法を考案・試行することができる。 b: 動物飼育の目的や現状、社会の需要に応じた今後の動向について、適切な情報収集と分析ができる。 a: 動物の種類と特徴、生理・生態と特性、発育と飼育環境との関連性、動物の病気と予防及び衛生管理について理解した上で、動物の飼育ができる。 a: 主要な社会動物について、種類と特性等を理解できる。	・授業プリント ・レポート ・学習態度 ・学習記録 ・定期考查
前期 末	A 畜舎のねずみ対策 (プロジェクト活動) 【教科書】 4 飼育技術と管理・評価	A 駆除方法について 【教科書】 4-2 産業動物 4-3 実験動物 4-4 野生動物の現状や保護活動 の取組	○	○	○	abc: 駆除方法を考案・試行することができる。 a: 主要な産業動物、実験動物について、種類と特性等を理解できる。 b: 野生動物の現状や保護活動の取組について理解できる。	・授業プリント ・レポート ・学習態度 ・学習記録 ・定期考查
後期 中間	A 畜舎のねずみ対策 (プロジェクト活動) 5 家畜の飼料と管理	A 取組内容から課題を見つける 【教科書】 5-1 家畜の消化器と消化・吸収の 機能 5-2 飼料給与の実際 5-3 飼料作物の栽培と調整 5-4 家畜の飼養管理	○	○	○	abc: 取組内容について、課題をみつけることができる。 a: 動物体内における栄養素の代謝、飼料の栄養価、飼料給与、飼料作物の栽培などについて理解できる。 b: 飼料作物の栽培や家畜の飼料設計に基づく飼料給与について理解できる。	・授業プリント ・レポート ・学習態度 ・学習記録 ・定期考查
後期 末	A 畜舎のねずみ対策 (プロジェクト活動) 6 家畜の繁殖技術	A まとめ 【教科書】 6-1 動物の生殖生理と繁殖管理 6-2 妊娠から分娩の仕組み 6-3 家畜の改良技術と繁殖技術	○	○	○	abc: 取り組んできた内容を順序だててまとめることができる。 a: 動物の繁殖生理、交配、出産などの繁殖管理について理解できる。 b: 家畜の繁殖の仕組みや繁殖技術、新技術や制度などについて理解できる。	・授業プリント ・レポート ・学習態度 ・学習記録 ・定期考查